

事業所名	グループホーム アミーユ大福
日付	2008/11/14
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員 認知症ケア専門士 介護支援専門員 介護福祉士
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります！)※	

## 2. 評価結果 (詳細)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>理念にしている「普通の生活の回復を目指す」ことを常に意識し、個々の入居者様に対して、その方法を全職員で検討、理解し実現することに取り組んでいる。またお一人おひとりの尊厳を重視したオーダーメイドケアのもと、自由な暮らしを満喫していただける。</li> <li>24時間医療機関との連携で安心した生活を提供する。</li> <li>入居者様とご家族の良い関係を維持していただくことを大切に、ご家族の協力と理解を得ながら、ご入居者様の「心の満足」をめざしている。</li> </ul>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者様のペースを尊重し、オーダーメイドケアを実行する事で、落ち着いて生活して頂ける様取り組んでいる。</li> <li>居室には自宅で使用されていた家具や馴染みのある品々を置いていただき、共用空間ではくつろげる取り組みを行っている。</li> <li>入居者様とご家族様との繋がりを重視し、コミュニケーションを大切にしている。</li> </ul>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人のできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

## 1. 評価結果の概要

講評
<p>全体を通して (特に良いと思われる点など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岡山市西部郊外の田園も見られる住宅地の中に位置し、国道2号線バイパスが近くを通り、近隣には郵便局・商店等もある日常生活に便利な環境である。</li> <li>経営母体が全国展開の事業体であり、各種マニュアル等も整備され、職員の資質向上も図られている。「普通の生活の回復を目指す」という理念に基づいて、管理者が職員と共に入居者様の尊厳を大切にされた支援が出来ている。</li> <li>24時間医療機関との連携により、緊急時の協力体制整っているため、介護職員、入居者、家族も安心して生活できている。</li> <li>ホームの生活の中で「感動」をテーマに入居者様とご家族様に原稿をいただき、同じ立場にいらっしゃる方々に共感や交流をしていただくために、毎月新聞「家族のひろば」発行や入居者様の日常生活の様子やご家族も参加できる催し等の情報を毎月、月初めに手紙で送付している。</li> <li>質の高いサービスを提供するため、実際に利用されている方から「ご意見・ご要望カード」に記入していただき、介護計画に反映している。</li> <li>ホームでの催しごとへの参加や「わくわくツアーズ」という車椅子の使用や体力に自信のない方も参加できるように交通手段や旅程に配慮した旅行企画等の外出活動も計画されて、生きがい対策や家族との交流を楽しむ機会を提供している。</li> <li>各ユニットで飼われている愛犬たちもアイドル的存在となり、入居者の方々が精神的に落ち着いてすごされている。またお酒等も自由にたのしむことができ、表情も明るく、笑顔で生き生きと共同生活を過ごしている。</li> <li>家族からいつ訪問しても家庭的な雰囲気でも本人も居心地よさそう、入居前に考えていた以上に行事に参加や日々の家事(食器洗い・水道り・草取りなど)と一緒にさせてもらってよかった等と声がある。</li> </ul>
<p>特に改善の余地があるとと思われる点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域交流も町内会長さんの協力等で徐々に図られているようです。今年は保育園との繋がりが出来始めていますとお聞きしました。今後とも地域交流に取り組んでいただき、入居者の方々が「ここでいるんなことをして生活できるので楽しい」と言われるホームを築いてください。</li> </ul>

### III ケアサービス (つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の生活の場面でも個々の入居者さまの力を理解し、本人様の意思や出来る事(料理の好きな方はおやつ作り、縫い物が出来る方はミシンを使ってのティッシュカバー作り・食後の後片付け等)を尊重した支援で、楽しく安心して自分の出来る事がたくなるように働きかけている。</li> <li>居室の出入り、更衣、入浴、排泄の援助方法等においても尊厳の保持を心がけている。</li> </ul>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>採用後3ヶ月間の導入研修、その後は毎月の研修を行い介護技術、サービス内容の向上に向け取り組んでいる。</li> <li>ご意見・ご要望カードの設置、フリ-ダイヤルでの本部直通のシステムにより、苦情や要望を受け取り、そのことがらに対して検討している。</li> <li>事故報告書やカンファレンスを活用し、問題の原因や対策を共有し予防と解決に努めている。</li> </ul>		